

Catch the eye 2016年6月

2016/6/1
(水)

うつぼ公園

昨夜から北風が入り、ひんやりした風の6月初日。せっかくだから、朝散歩して、企画のアイデアを練る。

2016/6/7
(火)人間ならではの
力

先週のうちに梅雨入りした近畿。6月に入り、はや一週間。夏至は二週間後。ちなみに大阪の日の出時間は16日をピークに17日から遅くなり始める。日の入りは7月6日がピーク、7日の小暑から早くなり始める。こうして、今年の半分も過ぎていく。

この頃になると、年初に予想いた今年の流れが徐々に現実のものとなってくる。人間の人間ならではの力の一つがこれ。流れを読む。前の流れの中から、次の流れが感じられ、勘が働いてくる。勘は人間の高度な情報処理能力だと思う。

前の流れの中に起きた出来事や展開以上に、それらの背景や周辺、はたまた空気から、各人が各人なりに感じ、みてとり、獲得し得る、言語化できない何か。だから無理に言語化する必要もなく、個々人が自らに納めて、次の流れに生かしていけばいい。

ということで、いま現実に動きだした今年の流れを、ごくごく自然に受けとめ、沿い、事を進めている今日この頃。

2016/6/13
(月)

うつぼ公園



2016/6/14
(火)

話せる場

梅雨の中休み、大阪は午後から日差し、むし暑い。こうなってくると、遠回りして歩く距離をのぼそうという気がなくなってくる。またその気になり出すのは9月に入って、「白露」あたりからか。来週21日は夏至。

“去年の今ごろはどうしていた…?”。ふとそう思い、昨年のスケジュール帳を取り出す。あっ、そうだった、今日と同じ6月14日だった、『あじさい人びと楽座』。

創業塾の受講者たちが4カ月後に共同で開催した古民家での催し。あれからもう1年。それぞれのペースで自分ならではの業を追求、この1日に開業届を出したと連絡が昨日届いたのだった。

講師をしてある時期からわかるようになった。創業塾や「プロ講塾」のような自分の仕事と人生を拓こうとするセミナーに参加する人たちは、それぞれに何らかの転機、分岐点、節目にあることを。

開講初日、どういう思いで参加しているのかまだわからない開始冒頭、受講者たちを前に、“さて、どんな話が出てくるだろう…”と、会場を見渡し、まずは自分の紹介から始める。

大体の創業塾は終了後に交流会や勉強会ができる。10年以上続いている会もある。自然解散した会もある。無理に続ける必要はない。3年経過したあたりからマンネリ化して、そうなる。

続けるかやめるか迷っている会には、次の2点を話す。一つは、解散しても、10年ぐらい経つと、それぞれまた節目を迎えるようになって、互いにどうしているかと気になりだし、会うことになる。

もう一つは、自分の感じていること、考えていることを安心して率直に、忌憚なく話し、議論できる場や相手は意外に少ない。経営者の立場なら、なおさら。今はそうでなくても、いずれわかる、貴重な場だと。

開業したばかりの人も、熟年経営者も、誰でも、時々くわれにかえり、<話せる>場や機会をつくるのが大事。いま現在に埋没せず、視界を晴らして、気も晴らし、自分の道から外れないために。

2016/6/21
(火)

コミュニケーション

今日は夏至。このタイミングでリーズレターを編集し配信。はや2016年も前半がすぎ後半をむかえる、「間」。ここまでの流れを読み、ここからの展開を予想し「構え」をおさらいするための一つの儀式。次は立冬。

さて、このところコミュニケーションについて考えさせられること少なからず。今回のレターにも少し書いた。でも、書いた範疇のこと以上に、コミュニケーションの状況はうまくいっていないかもしれないと思う昨今。

<会話のキャッチボール>をうまくできてない人が増えていると言われて久しい。最近では雑談力という言葉まで出てきて本も出版されている。個人的には?。でも実際、悩みの声を聞いた。

コミュニケーションについては、セミナーでもコンサルの場面でもよく話す。コミュニケーションの構造の話をする。〈なぜ〉を認識せず、ハウ・ツーだけ習っても、功を奏しないのが、コミュニケーション。

「響存」。コミュニケーションをそう訳した人がいる。コミュニケーションのあり方、意義を簡潔に表現。たがいに、相手の心に響き、相手が受容し内に収めて、関係が築かれていく。

雑談力と命名して、一つの科目のようなものをにってしまうと、雑談の意味はなくなるのではないかと思う。意識して雑談するとなると、パターン化して、ロールプレイのようになってしまわないか。

雑談は一つの社会性。口火はだいたいはたわいないこと。天気や時事ニュースなど。一方が話題提供して、それに呼応して、互いに感想や関連する別な話題を提供して協調する。

話題をふっても乗ってこなければ、それは相手の意思でもありスタイルでもある。誰彼となく関係構築できるわけではないから、無理に雑談を試みる必要もない、相手を尊重して。それもまたコミュニケーション。

2016/6/24 アートな世界
(金)

梅雨真っ只中、今日も雨。昨日午後から今朝にかけてカラッと晴れた一瞬が名残おいしい。さて、梅雨明けはいつになるのか。

どんよりした天気の子か、意気があがらない。でもいったんエンジンがかかり出すと、興にのる。集中してやるべきことをやり、話すべきことを話す。われながら、話が次から次へと出てくるなあと感心するほどに。

たくさんの人と出会い、たくさんのお話をしている。この仕事のよさは、いろんな分野の人に出会うこと。個人的には、公私ともに、アートな人が少なくない。分野は違っても、話をしている、通じるものがある。

一般には知られていないけど、それぞれの世界でそれぞれの人たちがそれぞれの思いで活動しているのだなあ、知らない世界をかいま見る。次もその一つ。

<http://www.ozasahayashi.com/news/1024>